

平成19年度

元気とやま!仕事と子育て両立支援企業

をご紹介します! 第2回

社会福祉法人毅行福祉会 中加積保育園

所在地: 滑川市 職員: 35名
業種: 保育園 (男性2名 女性33名)
HPアドレス:
<http://www.kosodateweb.com/nakakazumi>



中加積保育園の主な取り組み

☆法をはるかに上まわる「子の看護休暇」!!

子の看護休暇について、法は「無給・1日単位・5日間・子が就学前まで」と、最低限の基準を定めています。

中加積保育園では、子の看護休暇が有給、かつ半日単位の取得も可能。それだけではなく、なんと「義務教育期間中の子(15歳)」を看護する場合まで利用できるのです(しかも最大10日間)。

実際にこの制度を利用している職員の感想をお読みください。(右記)

☆「誕生日休暇」そして「誕生日の半年後休暇」!?

いつも仕事におわれて、自分の時間を持たない。そういう職員のために「誕生日休暇」が設けられました。自分の誕生日くらい、自分のために使ってほしい、そういう想いからです。そして「誕生日の半年後休暇」。心と身体のリフレッシュや健康管理に努めてほしい、そういう気持ちから設けられました。

その想いに応え、皆さん、とても活き活きと働いておられました。

☆世代を超えて!

共働きの両親だけの子育ては大変。困ったときのたよりはおじいちゃん、おばあちゃん。しかし、時代も随分変わりました。そこで、中加積保育園では、「保育の出前」を通して、祖父母の皆さんにも育児の協力を呼びかけています。

仕事と子育ての両立しやすい家庭づくりには、家族みんなの協力が欠かせません。



利用者の声

川崎真理子さん
(調理師
子の看護休暇)

今は高1の子が、中学生のときに看護休暇を利用しました。中学生といっても、1人で医者には行けませんし、熱を出した子を1人で家に残しては安心して働けません。だから、中学生まで看護休暇がとれるのはとても有難いです。体質にもよりますが、うちの子は高校に行くと、病気がかりにくくなりました。

調理師は4名なのですが、皆さん、子育てに理解があって、とても子育てしやすい職場だなあと感じています。



左が川崎さん

根上洋恵さん
(保育士
子の看護休暇)

子どもは1歳と3歳です。中学生の子まで看護休暇をとれるため、先輩方もよく看護休暇をとっておられます。そのせいか、子の看護休暇や早退することに対し、とても理解があり、私の仕事をフォローしてくれます。また、「子がつらいときは、子がいくつになろうと、そばにいてあげたい」そういう気持ちを分かってくれる職場だからこそ、働きやすいのだと思います。

誕生日休暇は、もちろん休みました。自分のことをするというより、子どもを早く迎えに行きました。これが今一番私がやりたいことなのです。



真ん中が根上さん

黒瀬幸美さん
(主任保育士)

若い職員が多いため、結婚・出産と慶事が続くので、子育てしながら働きやすい職場づくりを目指してきました。結果、5年で15人の子どもが生まれています。職員に対して優しい保育園だからこそ、よりよい仕事へつながるのではないのでしょうか。



☆こういうこともやっています!!

(週に2回、地域のお母さんたちが集まります)